



Photography by Takeshi Mihashi



環境報告書 2024

(2025年06月01日発行)

ニューデルタ工業株式会社

経営の理念・行動の指針

トップメッセージ

情報開示と持続可能な発展

ステークホルダーとの関わり

マネジメントシステム

化学物質管理対応

お客様との関わり

- 新商品開発に関する取組み
- 新商品開発・商品化審査規定施行基準
- 製品の環境影響評価

従業員との関わり

- 2024年度の労働災害について
- 防災訓練及び緊急事態時の対応訓練
- 環境教育

社会貢献活動

- 地域活動
- コミュニティー

環境保全活動

- EMS監査
- 遵法評価の結果
- 遵法制の評価について
- 内部・外部のコミュニケーション（苦情含む）
- 主な環境負荷（エネルギー・水資源・廃棄物 等）

ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

MS（マネジメントシステム）管理責任者より

環境報告書のご意見

本報告書について

報告対象年度

2024年度（2024年3月21日～2025年3月20日）

本レポートは環境省 環境報告ガイドライン（2018年版）を参考にしております。

経営の理念・行動の指針



経営の理念

私達は、より高い理想を求め

より広い視野に立ち

より深い技術を探求して

社会に役立つ商品の創造を通して

豊かな文化とくらしの向上を追求します。

行動の指針

私達は、つねに新たな変革(Change)を求め

強い個性と体力・智力を持った会社に育て

一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜しまず

信頼と感謝のもと、『和』の精神をもって

全員が目標に挑戦(Challenge)することを誓います。

Management Ideals

We pursue the affluent culture and the betterment of the way we live through the creation of useful products for society based on broad management perspectives, rich technologies and ever higher ideals.

Guidelines

We seek to be a corporation with its own distinctive characters, strength and wisdom, always seeking change, we are strict with ourselves and spare no efforts to achieve our goals. Each member challenges to attain our common goals in a spirit of mutual trust, thankfulness and harmony.

～トップメッセージ～

日頃より、弊社の環境マネジメントシステムに深いご理解と温かいご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2025年度は、気候変動や資源の枯渇といった地球規模の環境問題、そして多様化する社会的課題に対し、私たち一人ひとりがより一層の意識を持ち、行動に移すべき年であると考えています。こうした課題は、私たちの暮らしや事業活動に大きな影響を与える一方で、持続可能な未来を築くための新たな機会でもあります。

昨年度、弊社では品質と環境のマネジメントシステムを統合し、新たに「信頼を大切に、地球と人にやさしい社会を目指します」という品質・環境方針を掲げました。この方針のもと、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、企業としての使命と捉え、日々の事業活動の中で実践しています。

私たちの主要な事業領域である農業は、自然との調和の上に成り立つ重要な産業です。この農業を支えることは、すなわち環境への配慮であり、持続可能な社会への貢献に他なりません。さらに、弊社は三島市のSDGs宣言制度にも登録し、日々の活動において環境意識の醸成と取り組みのさらなる活性化を目指しています。

今後も私たちは、地球と人にやさしい社会の実現を目指し、環境負荷の低減や資源の有効活用、法令遵守に努めながら、事業を通じてお客様や地域社会に貢献してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ニューデルタ工業株式会社
代表取締役社長

高田 大輔

情報開示と持続可能な発展

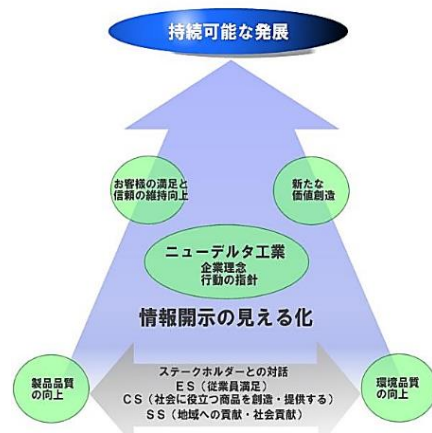
私たちは、ニューデルタ工業（株）の『経営の理念』及び『行動の指針』にもとづき企業活動を推進します。

私たちの行動の変革は、先進・独自の技術により社会に役立つ商品の創造・提供を通じて豊かな文化とくらしの向上に役立てることで、社会的満足が向上します。

その結果として生活の向上と将来にわたる繁栄が約束されます。

大きく変革を求めるプロセスの中で、社会と共に成長していくために、明確な目標を定め従業員一人ひとりが企業活動の中で、『変革と挑戦』をして行動することが最も重要な事と考えています。

私たちは、その企業活動を「情報開示と見える化」という言葉で実現し、各ステークホルダーとの対話を大切に、持続可能な発展を続けます。



ステークホルダーとの関わり

企業は、様々なステークホルダーと関わりながら活動を行っています。企業価値を高めるために企業が自ら抱える課題を中期経営戦略の中で策定し、社会との調和・ステークホルダーとのコミュニケーション・情報開示が最重要課題と位置づけ推進をしていきます。

企業が社会的責任を果たすには、適正な労働慣行や人権を尊重するといった「社会的側面」と経営の健全化と効率性を追求した「経済的側面」、地球温暖化防止や、循環型社会づくりへの貢献など、地球環境保全活動を推進する「環境的側面」について、責任を果たす事が重要な企業責任と考えております。

従業員： 当社の企業価値を高めるための活動の中で従業員は中心的な役割を担うステークホルダーです。行動の指針及び従業員満足の基本とした対話で企業活動を推進します。

お客様： お客様のご意見・ご要望を製品やサービス、そして企業活動へと反映することはメーカーとして最重要課題です。製品・サービスの創造を通じてより価値ある社会の形成に貢献していきます。

株主： 企業価値を正しくご理解していただく事を常に意識した情報開示に努め、経営の見える化、ホームページによる企業活動を開示します。

国際社会： 企業活動に於ける地域共生と環境保全を重要課題

地域社会： と考え、継続的な情報開示をおこない、地域社会とのコミュニケーションを推進していきます。

お取引先： 調達先は当社が安全で環境に配慮した製品を継続的に提供するための重要なパートナーです。資源保護、環境保全、法令遵守に則り調達先の皆様と相互理解のためにコミュニケーションを図り、公平な調達活動を行います。



マネジメントシステム

お客様にとって安全・安心で魅力ある商品サービスの創造を通じて、高い顧客満足度の提供と信頼の獲得を目指すと共に社会・環境との調和・共存に積極的に取組み顧客満足を推進します。

【品質・環境方針】

私達は、信頼を大切に
地球と人にやさしい社会を目指します

当社は社会環境の変化に対応した継続可能な社会を目指します。その方針を事業活動、製品サービスに落とし込み、全ての活動においてライフサイクルを考慮した品質活動・環境保全活動を推進します。

1. 当社の全ての活動において品質向上や環境との調和に配慮して行動するため品質・環境マネジメントシステムを確立し、その継続的な改善に努める
2. お客様満足向上の為、自工程保証による品質確保に努め、お客様視点で迅速なサービスの対応を図る
3. 地球環境の保全と人々が心豊かにくらす持続可能な社会に向けて、社会的責任を果たす
4. 品質・環境目標は年度毎設定し、レビューを通して継続的改善につなげる
5. 気候変動による内外の課題に対し、その対応を図る
6. ステークホルダーとの関係性を重視する為に、相互コミュニケーションを積極的におこなう
7. 当社の事業活動に関連して、環境関連を含めて適用される、法令、条例、規制、その他要求事項を順守すると共に、汚染の予防に努める

以上の内容の実行を品質・環境に対する決意表明としここに署名し、全従業員に周知する。

2024年9月20日

ニューデルタ工業株式会社
代表取締役社長

署名：

高田大輔



ニューデルタ工業株式会社



ISO9001

初回登録日 2000年11月22日
更新日 2025年05月13日

適用規格

ISO9001:2015/ JIS Q9001:2015

ISO14001

初回登録日 2004年05月13日
更新日 2025年05月13日

適用規格

ISO14001:2015/ JIS Q 14001:2015

～PDCAサイクルの展開とQMS、EMSの融合で継続的改善へ～

ISO9001とISO14001を融合して、品質パフォーマンス向上と環境パフォーマンス向上の相互関連を強化します。

一貫したマネジメントシステムで運用し、各部門が何をすべきかを明確にコミットメントして実行し、商品・サービスの品質向上による顧客満足向上と環境負荷の低減に寄与します。

その運用にあたって顧客満足の向上を図るためにPDCAのサイクルを回し、継続的な改善を図っております。



化学物質管理対応

- ・化学物質管理者選任
(リスクアセスメント対象物の製造事業場以外の事業場)
- ・保護具着用管理責任者選任
(リスクアセスメントに基づく措置として労働者に保護具を使用させる事業場)
- ・CREATE-SIMPLEによるリスクアセスメントの実施
- ・安全衛生委員会の付議事項の追加
自律的な管理が適切に実施されていることを労使でモニタリング、調査・審議します

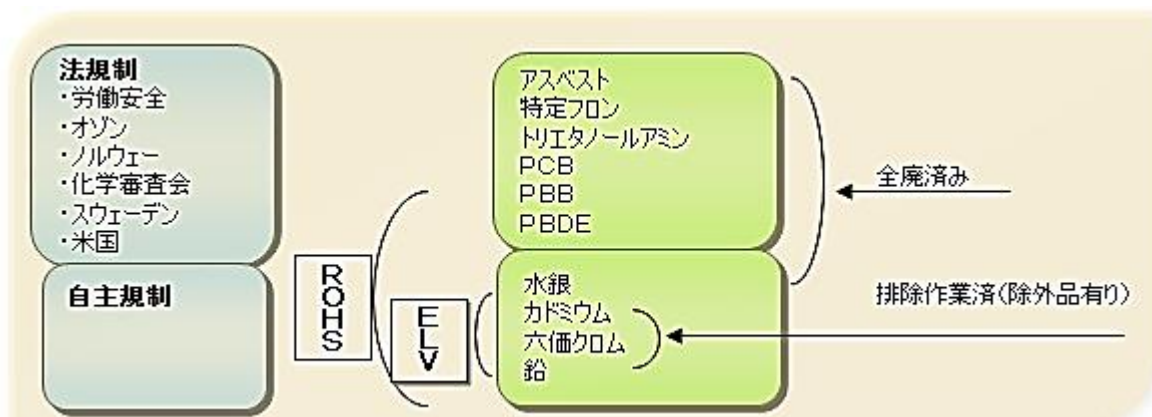


～化学物質に関する情報提供を積極的に行っています～

「PRTR法（化学物質排出管理促進法）」では、環境汚染の恐れのある化学物質を、工場などがどれだけ安全に排出し、廃棄物として移動させたかを行政に届出するように定めています。当社ではこの対象物質の届出はもちろんのことホームページ上でも情報を開示しております。

P R T R法対象物質	2024年度 使用量	前年対比 (出荷原単位・塗装面積含む)
キシレン	2,160kg	78.7% (85.6%)
エチルベンゼン	1,666kg	80.8% (87.9%)
トルエン	1,278kg	110.6% (120.3%)

～当社はヤンマーグループ地球環境委員会の一員として、環境有害物質の全廃活動を推進しております～



お客様との関わり

1. 新商品開発に関する取組み

2024年度新商品
・YW500RC,A

2. 新商品開発・商品化審査規定施行基準



お客様が安心して製品を購入・使用できるように、各商品開発ステップに於いて、各関連部門は色々な管理項目をどのように達成していくか、役割を明確にして推進していきます。
当社は、生産担当部門として、Q・C・Tの実施項目・目標を明確にして展開をしました。

3. 製品の環境影響評価

当社はヤンマー規格（Y I S）にもとづき、製品の環境影響評価を実施しております。
この環境影響評価は、①法規適合性、②地球温暖化防止、③周囲環境の改善、④リサイクル環境負荷物質の低減と省資源化、⑤情報開示 の5つのテーマについて評価を行い、その評価点が55点以上になるよう改善を実施します。

商 品 名	YW500RC,A
点 数	56.0点

従業員との関わり

当社は従業員が核となるステークホルダーであると位置づけ「社員一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜まず、信頼と感謝のもと、『和』の精神を持って行動する」ために、社員の能力開発、高齢者再雇用の仕組み作りや社内外での様々なレクリエーション等の取り組みを行い、従業員と会社の信頼関係の構築に努めております。また、5S活動を通じて、製品の品質向上、生産効率の向上及び、社員が安全で働きやすい環境を確保することに努めております。

1. 2024年度の労働災害について

() は前年度件数

業務を休まなければならない重大災害	0件 (0件)
不休業災害	2件 (0件)



2. 防災訓練及び緊急事態時の対応訓練

・震度6強の地震を想定した避難訓練と防火訓練を実施しました (2024年09月25日)



・緊急事態指定4カ所 (①排水処理 ②油水分離槽 ③廃油置場 ④塗装職場) の確認を3部門に分け実施しました (2024年09月25日)



3. 環境教育

・2024年10月15日

全従業員へQMS (品質) とEMS (環境) マニュアル統合教育を実施
(品質と環境マニュアルの統合、ND環境、SDGs、YGC2050等)

当社では年度方針説明会時や各職場ごとに星取表を使用して、環境への理解を深めるための教育を実施し、レベルの向上を目指しております。

- ☆ 新入社員の入社時、環境教育
- ☆ 方針説明会での環境への取り組みについて説明
- ☆ 各職場による環境教育
- ☆ 内部監査員養成のための社内研修



社会貢献活動

1. 地域活動

私たちは、工場内外の水路清掃及び工場外の道路清掃を通じて、環境に対する意識向上を図っております。また、近隣住民の方や従業員家族を招いた『ND農園収穫体験』を行い、住民相互の情報共有や信頼関係・協力関係を築き、豊かな社会の実現と地球の未来を見据えた地域コミュニティ活動を目指し活動しております。

・2024年09月25日

国道136号線より西側に延びる舗道両側と工場北側農道のゴミ拾いを実施しました



・2024年11月09日

近隣住民・従業員・家族 計33名参加のND農園収穫体験を実施しました



～静岡県赤十字血液センターへの献血・ペットボトルキャップの回収にも協力しています～
(ニューデルタ工業敷地内で実施)

- ・献血協力 : 2024年12月26日 400ml (6名)
- ・ペットボトルキャップ回収 : 2024年10月10日 3.5kg (1袋)



2. コミュニティー

私たちの企業活動において継続的な対話や情報開示の機会を設け、地域社会とのコミュニケーションを推進しております。その一環として当社の生産活動、環境保全に関する取組みを開示する場として工場見学を積極的に受入しております。

～2024年度 工場見学～

- 2024.10 埼玉南部花卉生産組合 23名 (引率含む)
- 2024.11 丸高出荷組合 40名 (引率含む)
- 2025.01 オペレータ組合 30名 (引率含む)

環境保全活動

MS 監査

- ・第1回内部品質環境監査（2024年10月）
- ・第2回内部品質環境監査（2025年01月）
- ・QMS/EMS統合審査（初回審査 第1段階審査:2024年12月）
（初回審査 第2段階審査:2025年02月）

これらの是正処置は全て完了しております。



遵法評価の結果

- 水質汚濁防止法 …… 工場排水のPH,BOD,SS,COD,ノルマルヒキサン,Fe,Cr,を毎月計量測定
芝浦セムテックによる測定結果は全ての項目が基準値内でした。
- フロン排出抑制法 …… 工場内や対象設備簡易点検：年4回 定期点検：年1回
簡易点検：EMS事務局 定期点検ヤンマーエネルギーシステム他により実施し、異常はありませんでした。
- 騒音規制法 …… 2024.9.13実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
（一部自主基準値をオーバーしましたが対策実施済みです）
- 振動規制法 …… 2024.9.13実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
- 廃棄物 …… マニフェストの管理/処分場の現地確認
現地確認により適正に処理されていることを確認しました。
産業廃棄物管理票交付等状況報告書
電子マニフェストにより静岡県東部福祉センターに提出、受理されました。
- PRTR法 …… 第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書
2024.6.13 静岡県環境部 環境局 生活環境課に提出、受理されました。
- 浄化槽法 …… 11条検査
2024.5.23 静岡県生活科学検査センターによる検査を実施し、
4カ所全て適正でした。
清掃：年1回、保守点検：年4回 実施
- 消防法 …… 少量危険物管理：年4回（塗料庫点検表確認：EMS事務局）
消防用設備点検：年2回（消防用設備点検：伊豆防災機器）
適正に管理されています。

遵法制の評価について

当社は、法規制に対する測定を定期的の実施し、その測定値は厳密に管理されており
法令違反による勧告・是正指導はありませんでした。この結果は、第三者による外部監査
でも評価されております。

環境保全活動

内部・外部のコミュニケーション（苦情含む）

2024年3月21日～2025年3月20日までに環境情報連絡・対策依頼書の発行は3件で、全ての対応が完了しております。また、工場近隣住民へのヒアリング調査を実施し、環境・その他の意見・苦情・提案はありませんでした。
今後も定期的に調査を実施致します。

	2023年度	2024年度	前年比
	実績	実績	使用量
電力	1,016,957KWh	863,968KWh	85.0%
都市ガス	160,814m ³	152,116m ³	94.6%
事務用紙	192,000枚	181,500枚	94.5%
市水	523m ³	505m ³	96.6%
井水	19,298m ³	21,102m ³	109.3%
廃棄物	266.6m ³	199.6m ³	74.9%
リサイクル率	95.1%	96.8%	-

※LED切替、節電ユニット導入により電気使用量が低減しました



環境保全活動

SDGs活動（環境関連）

当社の取組み



上記環境関連図は下記より抜粋しております

すべての企業が持続的に発展するために - 持続可能な開発目標(SDGs エスディー・ジー・ズ)活用ガイド - 〔第2版〕令和2年3月 環境省

環境保全活動

～わたしたちは、持続可能な開発目標『SDGs』を支援しています～

当社は三島市SDGs宣言制度の申請を行い、2025年1月6日に三島市SDGs宣言証の交付を受けました。三島市SDGsロゴマークを活用した対外的なPR活動推進として、当社ホームページへ掲載しております。

三島市SDGs宣言証



ニューデルタ工業 株式会社 様

貴事業所（団体）は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、SDGs宣言を行ったことを証します。

令和7年1月6日

三島市長 豊岡 武士



～当社SDGsの取組状況～

様式第1号（第4条関係）

三島市SDGs宣言書

2024年 12月 25日

フリガナ	ニューデルタコウギョウ(カ)				
事業者名	ニューデルタ工業株式会社				
フリガナ	ダイヒョウトリシマリヤク タカダ ダイスケ				
代表者役職・氏名	代表取締役 高田 大輔				
所在地	静岡県三島市梅名767番地				
TEL	055-977-1727	FAX	055-977-7608		
ホームページURL	https://www.newdelta.co.jp/				
SDGsの取組状況	☒ 取り組んでいる ☐ 今後取り組む予定				
目指すSDGsのゴール	☐	☒	☐	☐	☐
【複数選択可】 各ゴールの下に□に「✓」を入れてください。	☐	☐	☐	☐	☒
	☒	☐	☒	☐	☐
SDGs宣言	（自由記載欄）※市公式HPに掲載します（横200文字で記入してください）。 当社の提供している小型農業用機械（管理機・草刈機）は、狭い農地でも小回りが効き、効率的に土壌作業や除草作業を行うことができます。従来の手作業や大型機械に比べて省力化でき、農作業の負担を軽減します。これにより、農家の労働環境が改善され、安定した食料生産が促進されます。また、草が生い茂る耕作放棄地では、農作物の栽培に支障をきたすことがあります。草刈機は、こうした土地を効率的に整備し、耕作放棄地の再生を可能にします。これにより、農地が再活性化され、持続的な農業生産が支えられます。 そして、これからもISO14001の活動を通じて温室効果ガスの削減を進め、環境負荷を軽減していきます。 当社製品の普及を通じて、持続可能な農業へ貢献して参ります。				

ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

ヤンマーグループ地球環境憲章

環境基本理念

ヤンマーグループはグループとしての発展と地球環境保全との調和のとれた関係を構築することに努めることにより、社会の持続的発展に寄与します。

行動指針

1. 環境保全への取り組みをグループ経営の最重要課題のひとつとして捉え、グループを挙げて環境経営に取り組む
2. 事業活動にあたり、事業所が立地する国、地域の法令、規則を遵守するのはもちろん、必要に応じ自主基準を設定して環境保全レベルの向上に努める
3. グループ地球環境委員会において環境対応方針を策定し、グループ内に周知の上、総合的に環境保全活動を推進する
4. 環境保全に関する情報を積極的に社内外に公開し、グループ会社、パートナーの理解と協力を求め、効率の良い環境保全活動を推進する
5. 下記の環境4分野につき、実効のある施策を計画的、継続的に推進する
 1. 環境保全に寄与する技術の確立と環境負荷の小さい製品・サービスの提供
 2. 事業活動の各段階での環境負荷の低減
 3. 社外との連携、共生→地域社会への貢献、環境情報の公開等
 4. 環境意識の向上→社内環境教育、ライフスタイルの改革等

A SUSTAINABLE FUTURE ーテクノロジーで、新しい豊かさへ。ー

VISION01

省エネルギーな
暮らしを実現する会社

VISION02

安心して
仕事・生活ができる社会

VISION03

食の恵みを
安心して享受できる会社

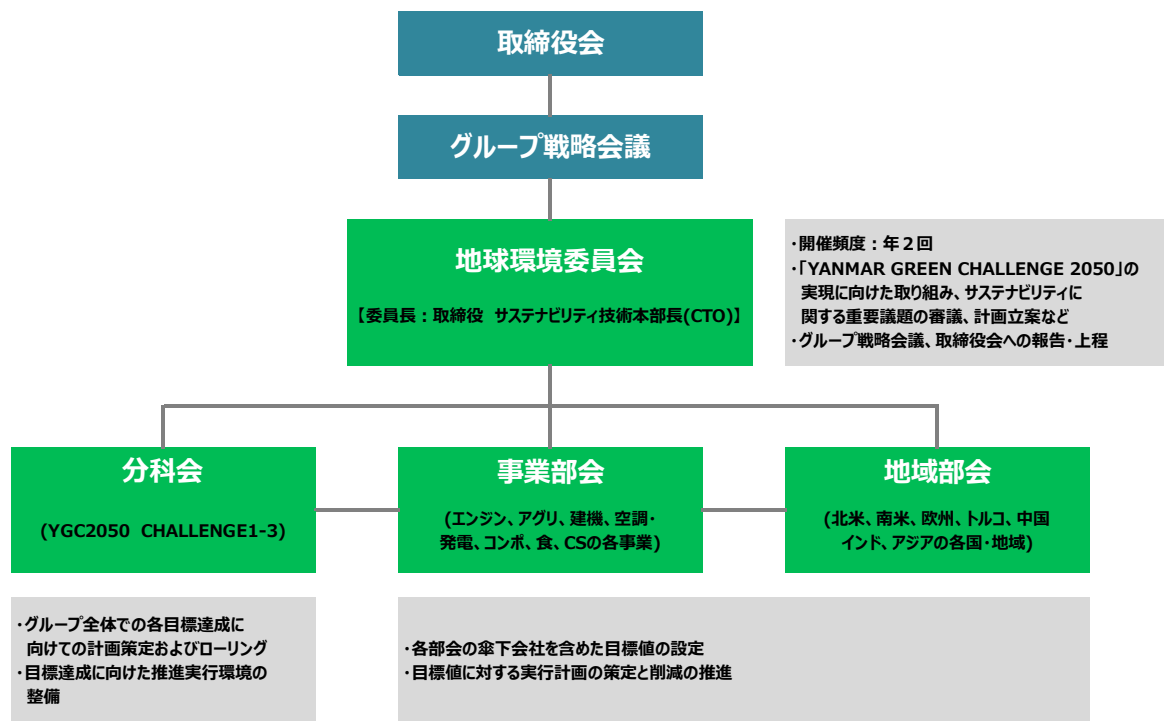
VISION04

ワクワクできる
心豊かな体験に満ちた会社

ヤンマーグループは、ミッションステートメントで掲げる、生命の根幹を担う「食料生産」と「エネルギー変換」の分野で、世界最先端のテクノロジーを通じて、お客様の課題解決に取り組んでいます。「A SUSTAINABLE FUTURE ーテクノロジーで、新しい豊かさへ。ー」で描く4つの未来像を実現するために事業を通じて直面する社会課題解決のため、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」などに取り組み、SDGsの目標達成に貢献していきます。

また、当社の提供している小型農業用機械管理機や草刈機の普及を通じて、農作業の負担軽減や農家の労働環境の改善、安定した食料生産の促進や土地を効率的に整備し、耕作放棄地の再活性化と持続的な農業生産に取り組めます。当社はISO14001の活動を通じて、温室効果ガスの削減を進め、環境負荷を軽減し、当社製品の普及を通じて持続可能な農業へ貢献して参ります。

ヤンマーグループ環境保マネジメント推進体制



～MS（マネジメントシステム）管理責任者より～

2024年1月の能登半島地震に始まり、異常気象による自然災害や気候変動、農作物の不作による米・野菜の価格上昇、さらには資材価格の高騰による物価上昇など、私たちを取り巻く生活環境や社会情勢は大きく変化しております。このような厳しい状況の中にあっても、ステークホルダーの皆様のご理解とご協力を賜りながら、弊社は様々な課題に対応し、企業活動を継続することができております。改めて、心より感謝申し上げます。

特に環境面においては、LED照明への切替や節電ユニットの導入により、電力使用量の削減を実現いたしました。また、「気候変動適応法」および「労働安全衛生法の化学物質規制の改正」を踏まえ、熱中症対策の強化や、新たに規制対象となる化学物質の調査および対応も進めております。環境活動における「目的・目標評価」につきましては、PRTR法対象物質である「トルエン」の排出量が前年より増加した点を除き、概ね目標を達成しております。なお、トルエン増加の原因調査および対応はすでに完了しております。また、環境関連の法規制に対する遵法状況についても、現在のところ問題なく良好であることをご報告いたします。

このたび、品質と環境のマネジメントシステムを統合し、全従業員への教育を通じて、さらなるレベルアップを目指してまいります。今後も「信頼を大切に、地球と人にやさしい社会を目指します」という品質環境のもと、企業活動と環境活動が連携した取り組みを着実に推進してまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



環境報告書のご意見

この報告書に関するご意見をお待ちしております。

提出先 : ニューデルタ工業株式会社 管理部 総務経理課

提出方法 : 下記のいずれかでご提出下さい。

- ☐ 郵送 411-0816 静岡県三島市梅名 7 6 7
- ☐ F A X 055-977-7608
- ☐ 電子メール soumu@newdelta.co.jp

様式 : 様式は自由です

問合せ : 管理部 総務経理課 電話 : 055-977-1727





ニューデルタ工業株式会社

New Delta Industrial Co.,LTD.

〒411-0816 静岡県三島市梅名767番地

TEL:055(977)1727代表

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp

767 Umena Mishima City. Shizuoka Pref. Japan

TEL:055(977)1727

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp